

昌壽院 おてらだより 第14号

令和8年度 京都府宗務所 主催

檀信徒本山研修会

曹洞宗 昌壽院

〒621-0814
亀岡市三宅町 95
TEL 0771-22-2350
otera@shojuin.jp



大本山永平寺 勅使門と杉木立

令和8年6月23日～24日にかけて、1泊2日の日程で「檀信徒本山研修会」が開催されました。今回は久しぶりの大本山永平寺での宿泊研修で、昌壽院からは4名が参加しました。

1日目は、福井県の丸岡城と「日本一短い手紙の館」を見学したのち、永平寺へ向かいました。

永平寺では、精進料理、坐禅、法話、映画など、ご本山ならではの研修を受けました。



声、凛とした空気、厳かな雰囲気は、まさにご本山でなければ味わえないものでした。あわせて、ご先祖さまのご供養もお勤めいただきました。

その後、諸堂を拝観し、永平寺の歴史と修行道場としての姿にふれることができました。

日常を離れ、静かに心を調える時間は、まことにありがたいものでした。

翌朝は4時に起床し、坐禅。その後、朝のお勤め(朝課)に参加しました。

ご本山の法堂に響く読経の



昌壽院から参加した4名で記念撮影

(上)門前の新名物「永平寺だるまぶりん」

続いて訪れたのは、福井県大野市にある曹洞宗第二道場と称せられる宝慶寺(ほうきょうじ)です。冬には永平寺よりも寒く、雪も深いといわれる厳しい地にあります。



冬は雪で道が閉ざされることもある

この宝慶寺を開かれたのが、寂円禅師です。寂円禅師は、中国の天童寺で道元禅師と共に修行し、その後、道元禅師を慕い、海を渡って来られました。その決意の深さ、そして、そこまで人を惹きつけた道元禅師の人柄と魅力。お二人の関係を思うと、胸を打たれるものがあります。

また、寂円禅師の流れをくむ弟子が、のちの曹洞宗を大きく支えていかれたことを思うと、宝慶寺は曹洞宗にとって大変重要な道場であることを改めて感じました。

今後、大本山永平寺での大人数の宿泊研修は対応が難しいとも伺っており、今回が、永平寺に宿泊する最後の本山研修会になる可能性があります。大変貴重な機会をいただいたことに感謝申し上げます。



AI時代に大切なこと

巨人の阿部監督が辞任したニュース。我が子に対してであっても暴力は許されないことを、あらためて認識しました。

驚いたのは、娘さんがAIに相談し、児童相談所、警察へとつながっていった経緯です。この件で、「AIはダメ」と感じた人も多いと思いますが、私は、「AIはしっかり仕事をしたのでは」と感じています。提案を採用したのは娘さんであり、その後の対応は人間によるもの。各対応は間違っていないのでしょうが、どこか機械的・マニュアル的な印象が残ります。少し対話を重ねれば結果も違ったのだろうか。そんなことも考えました。

AIは日々学習し、調整されて、倫理や安全に配慮した回答を出すように進化中です。対して人間は、感情に流され、迷い、悩む、ときには判断を誤ります。それが人間らしさでもあるのですが、AIを使いこなすためには、人間としての「地力」を養うことが、重要になってきていると感じます。

「冷暖自知 ーれいだんじー」

水の冷たさや温かさは、自分で飲んで初めて分かる、という意味です。頭でわかったつもりだけではダメということですね。

お墓参り、読経、ご詠歌、巡礼、写経や坐禅などは、AIに代わってもらうものではありません。自らが正しい、体験する。そこから得た経験や確かな実感。これこそが、これらの時代を生きる私たちの、揺るぎないより所となるのではないのでしょうか。(住職 合掌)

令和8年度 京都府宗務所

子ども禅のつどい

令和8年5月30日(土)、園部町の徳雲寺を会場に、「子ども禅の集い」が開催されました。昨今の酷暑を避けるため、初めて5月に開催されました。

当日は、昌寿院から4名の子どもたちが参加。全体では、亀岡市や南丹市などから約30名の小学生が、和尚さんたちと一緒に、楽しい一日を過ごしました。

はじめに交流ゲームで緊張をほぐし、その後は坐禅体験。静かに坐り、自分の呼吸に心を向ける時間を持ちました。

ゲーム、カレー、バルーンアートのステージ・水遊びと盛りだくさんの一日。お寺を会場に、仏さまに見守られながら、楽しい時間を過ごすことができました。



境内墓地の砂利整備

境内墓地の通路に碎石(バラス)を撒きました。以前より細かい石なので少し歩きやすくなったと思います。すこしずつ作業していきますので、まだ未実施の場所もありますが、ご容赦ください。



『梅花 御詠歌の会』

令和8年3月27日に実施された「梅花流詠讃歌京都府宗務所検定会」に結果、「二級教範」に山本博子さん、「大教導」に並河智子さんが合格されました。おめでとうございます。皆さんも一緒に詠歌しませんか？

毎月第3木曜日

午後1時半〜3時半頃
楽しい会です。

ぜひ一緒に！

